

平成27年度 県立学校における「地域と共にある学校づくり」の取組概要

32 吉野高等学校

<平成27年度の取組>

	取組名	活動時間	連携先	取組への生徒の関わり方	取組の概要	実施の時期
1	桜再生プロジェクト活動	⑥ クラブ活動・部活動	g. 地元自治会	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	「吉野山」における桜が衰退する原因のひとつにナラタケ菌に侵されることがある。この防除のひとつの方策としてナラタケ菌と拮抗関係をもつトリコデルマ菌を植菌させた苗木を植える活動を行った。16年間、様々な方策により継続している。	4月～7月
2	地域合同防災訓練	④ 特別活動（生徒会活動）	g. 地元自治会	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	震度7強の地震が発生したことを想定し、地元自治会の高齢者20名の避難を本校生がリアカー、車椅子等を補助してサポートした。その後、一緒に消火訓練を受けた。	5月
3	葉ボタンの栽培と配布	⑥ クラブ活動・部活動	g. 地元自治会	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	8月に播種した葉ボタンを吉野高校内実習場で栽培し、12月に周辺地域及び役場・警察署等の行政機関に配布した。29年間継続している。	8月～12月
4	吉野中学友灯工房	⑤ 特別活動（学校行事）	b. 小学校・中学校	⑤ 教職員等が計画を決定した	吉野中学校3年生における総合的な学習の時間は、地元木材を使った一人ひとつの行灯づくりである。その製作に吉野高等学校の施設、設備を開放し、そして教員と生徒がサポートを行っている。13年間継続している。	7月
5	吉野上市花火大会 灯籠流し	⑥ クラブ活動・部活動	b. 小学校・中学校	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	吉野町の元気創造事業である「ふるさと元気吉野まつり2015」の中の一行事として開催された。上市商店会青年部とともに計画し実施した。灯籠流しは、夜間に行ったため、小学生や中学生は事前制作のみを行い、高校生と青年会が、吉野川で約1,000基の灯籠流しを実施した。	7月
6	交通安全マスコットの配布	④ 特別活動（生徒会活動）	b. 小学校・中学校	① 生徒が主体的に計画し、教職員等と一緒に決定した	交通安全への意識の高揚を目的に、本校生が作製したマスコットを100個配布した。小学生（100名）は同時に配布するティッシュケースに交通安全に関わるイラストとメッセージを書いた。	9月
7	吉野地区花いっぱい運動	⑥ クラブ活動・部活動	g. 地元自治会	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	昨年、地元有志によって作られた吉野川左岸の堤防沿いの花壇の整備を、本校農業クラブと吉野小学校の3年生全員が行った。当日は、チューリップ等の球根とアジサイの苗を合計約1,000株植え付けた。	10月
8	ふるさと元気吉野まつり 2015 木工製品製作ブース出展	⑤ 特別活動（学校行事）	b. 小学校・中学校 g. 地元自治会	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	吉野町主催で、元気創造事業の「ふるさと元気吉野まつり2015」に参加した。本校工業科の教員と生徒が、地元町民を対象に木製ペン立ての組み立てを行った。なお、吉野中学生も製作の補助員として参加した。	11月
9	こども園訪問	⑤ 特別活動（学校行事）	a. 保育園・幼稚園	④ 教職員等が計画をする際、生徒に意見を求めた	吉野町立の2つのこども園と交流会を持つ予定をしている。内容は、本校生によるハンドベル演奏と本校生が作製した木馬の寄贈を行う予定である。	3月